八

源注拾遺卷第五

玉鬘
初音
胡蝶
蛍
常夏
篝火
野分
行幸

尊經閣文庫
尊經閣叢書
上
開雅文庫
帝國圖書館藏

藤袴

真木柱

桑原文庫

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

辨散樂策是上天皇勅問終云宣学談核之奇能

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

佛の法[illegible]

録第二十八云貞観十八年六月廿八日甲辰先是律師法橋

大位長朗中牒偏大和国長谷寺是長朗先祖川
原寺修行法師位道明寺[宝亀]貞亀年中梁其同類奉
為国家所建立也霊像殊験遐迩仰止云々又長谷
寺[宝亀]寺観音[宝亀]霊験[宝亀]一所[宝亀]也
一[宝亀]所[宝亀]の市[宝亀]○今[宝亀]案[宝亀]つ[宝亀]に[宝亀]世[宝亀]丹波市[宝亀]に[宝亀]遠[宝亀]く[宝亀]云[宝亀]ハ
つ[宝亀]ま[宝亀]ま[宝亀]ま

一かんのゆゝしくそゝびたる事と○七葉百番

鈴山をゆめ〳〵なかれとなん

一いとあさましくあさましくこそ

紅梅の花をあさましく侍るよりうゑ人の今迄

なきあさましくあさましくこそ

つゝましくて新の部

一ひさしくなりぬ○八十番集歌

桐松の花ゆゑ

一ゆゝしくあさましくこそ

見ゆゝしくあさましく詠田

一二月ゆゝしくあさましく

葉と源氏

我すゝしくもしらしらしくこそ

はかなくて世をこそ源氏の月

とはけさこそ今は世八代集

に番号のゆゝしくこそ

一松くはのよりてこそ

老女之称也百番集ニ

いゆゝしくはかなくて

女の仮名八歳無奈これハ於の字と風てこそ

於無奈とこそ老女於無奈世界

世二条の

と年下ゝ

た

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
玉髪ハ髪のもとゝ[illegible]
[illegible]
髪加音波都和名髪ヲキ者所以被助真髪也俗用髪字
非也髪者花髪之髪也見拙著異[illegible]
[illegible]
[illegible]

皆髪ゝ也一日花安屋ゝ也花ヨ[illegible]
[illegible]ハ華髪の[illegible]
一 人のゝ[illegible]
[illegible]
天地のゝ[illegible]
曽許花ゝ[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

和音

一 年ちかくあさの葉拾遺
あさの葉ちかくさかりもとめ地蔵菩薩
一 いろは佛のこころの葉ちかくあさの地蔵菩薩
佛ちかくあるはいとたちまち
一 れんぎょうの花をいろふかくもあさの和音
當麻寺にさかりの花し○八重桜河内より出るもの
一 ちかくしらぬひもあれる○八重桜碑文集細流を
ひるまあり父のこともおもひ
一 物ぬぎすてるけちかくの○八重桜河内櫻井より
ちかくあらはれけり
一 ふかみどりの葉の中へ入れば人をあはれもそそ

一 寶塔のうしろにかくれもの花の中より出て
さけるは蓮の葉あれそ○八重桜百葉千ようの
ちかくあるを古佛丈参りの
一 あしはかりの○八重桜百葉サ沼へうの
ちかくの時○そこなりの土毛を
花ちかくの俊者詩時より
一 ちかくの○八重桜碑文集細流
晩のあさの葉の中へ入れば
一 ちかくの 河来草 後漢書 福草 村種 延喜式 蓬草 風土記
○今年定草 福草八延喜 治初 目録 村種の武
中ちかくの船 世説 八百 月六花 知
集 和名抄 世説 八百 月六花 知
蔓 音娘 和名抄 仁徳 日本紀 私記 福草 草枝 桐當也 令義解 神祇 人

云三枝祭 謂卒川社祭也以三枝華 飾酒罇祭故曰三枝也

[illegible]

稱七十登[illegible]三[illegible]

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

白雲[illegible]

[illegible]

一 [illegible]文選沈休文詩ニ[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一本一則十シ

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

胡蝶

一 [illegible]

○万葉集行香[illegible]

細[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

蛍

一 [illegible]

○[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 世ノ人ハそもかてもかてもの用ゴトノ○今案

世中ハそもかてもかてもの用ゴトノ

一 ○今案

世ノ人ハ

常麦

一 ひやかし○今案和名云四聲字苑云氷 ナハト綾反 和名比

水寒凍結也精夫経云立秋後不得領氷將 今案以氷

云唐韻云霜糟 編上臺二音和名比ヤ或説

云非米粥之変也

一 ○今案和名比ヤ

一 ○今案和名

もの用ゴトノ

ハ時

ひやかし

○今案

白酒

陳紙

白酒

一 ○今案

[illegible]

一 いとうれたる[illegible]○万葉 万葉巻五山上憶良歌

世間難住 [illegible]

○[illegible]

元 [illegible]

一 [illegible]

一 世のことわりを[illegible]

一 和琴 花 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

言はれたる仏は以ての外の魔障呪詛なり○今集百番の歌に
[illegible]
[illegible]
[illegible]

頭子とこれ[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

一 [illegible]
[illegible]
襲音思 謂清器虎子也 今案俗語虎子於保
列反 都保清器師乃波古 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

江海の精[illegible]池をひらき[illegible]

一[illegible]○今集[illegible]

[illegible]

一[illegible]粉 白氏文集○今集[illegible]粉[illegible]

輕[illegible]深使[illegible]所以著類也今集輕粉即顔色也

又今文選好色賦注著粉則[illegible]粉[illegible]

[illegible]作の[illegible]

江海の[illegible]と[illegible]

考[illegible]